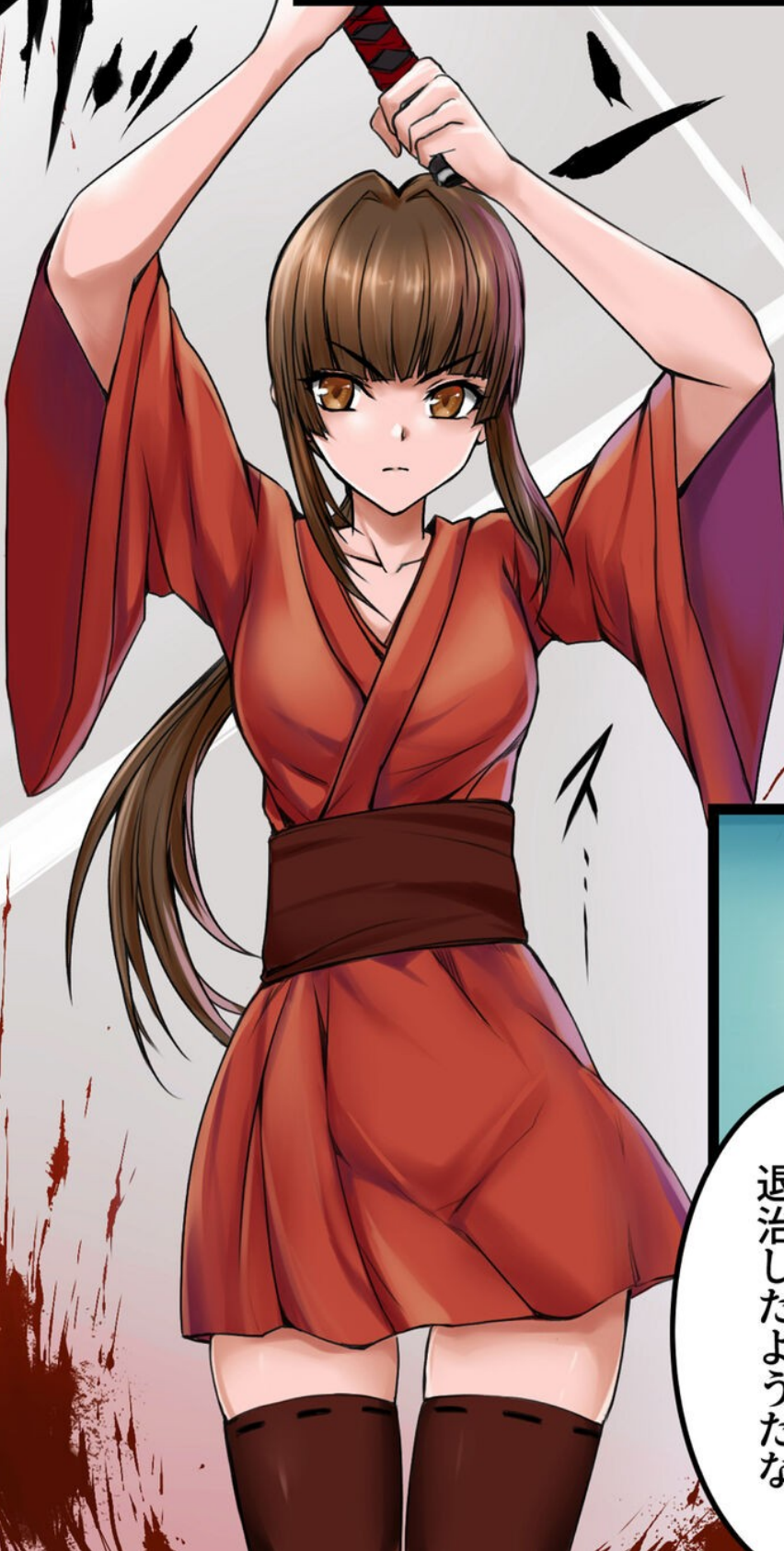




彼女は妖怪討伐士



各地を旅しながら、人々に
危害を加える妖怪を退治していた。

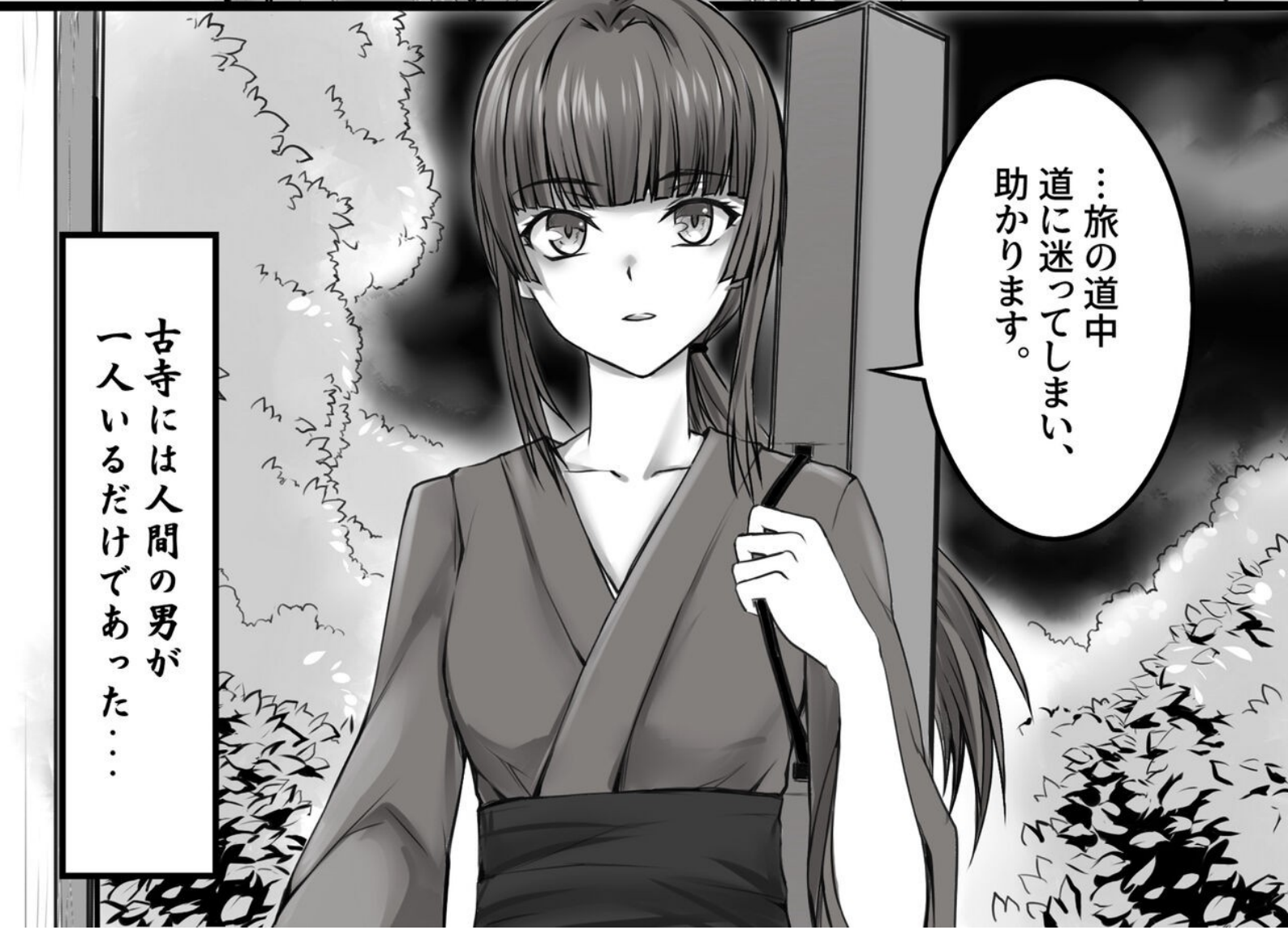


この辺の妖怪は
すべて
退治したようだな



次なる妖怪の気配を察知して
山奥の古寺を訪れたのだが、

またなぜ
こんな夜中…
このような片田舎へ？



…旅の道中
道に迷ってしまい、
助かります。

古寺には人間の男が
一人いるだけであった…

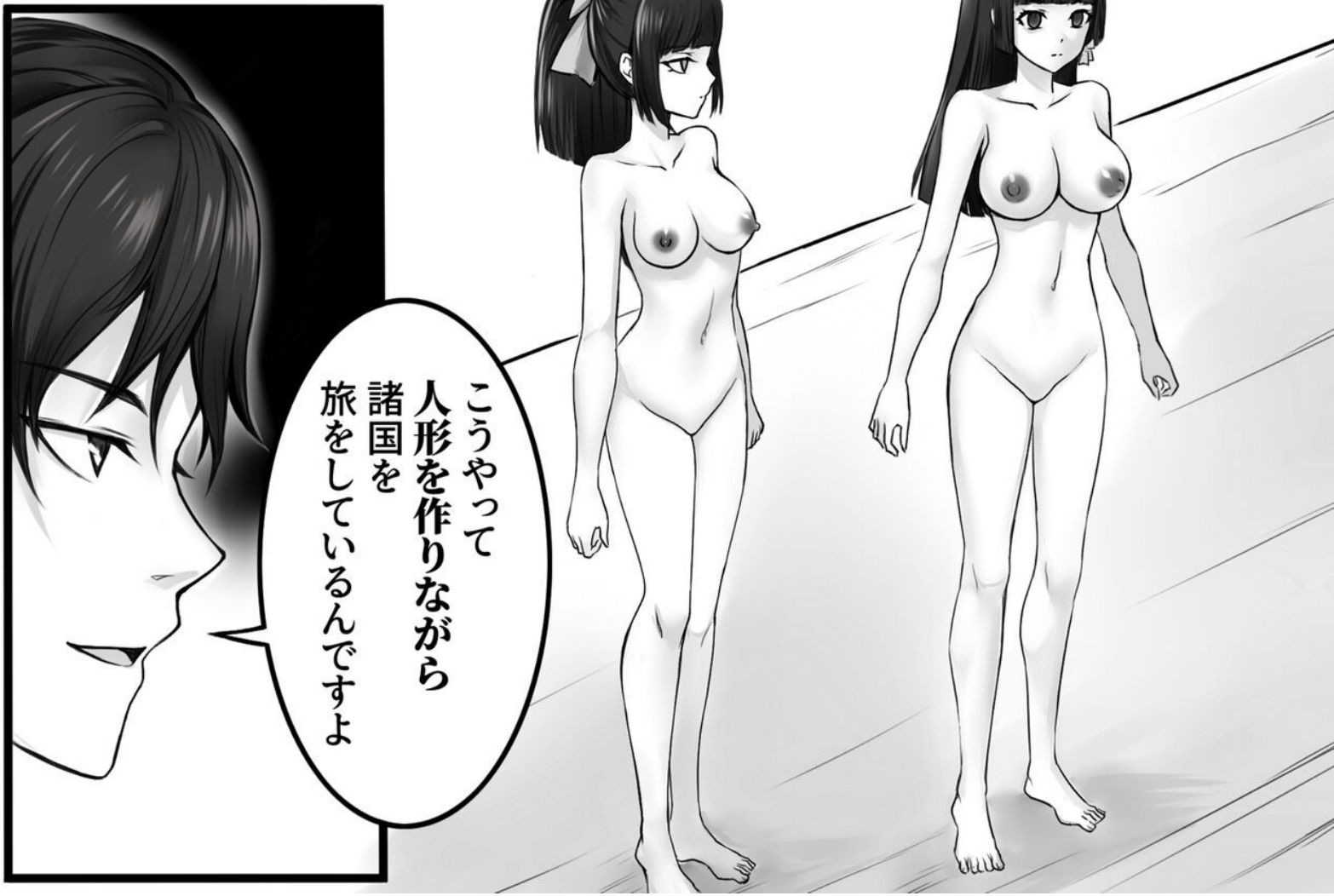
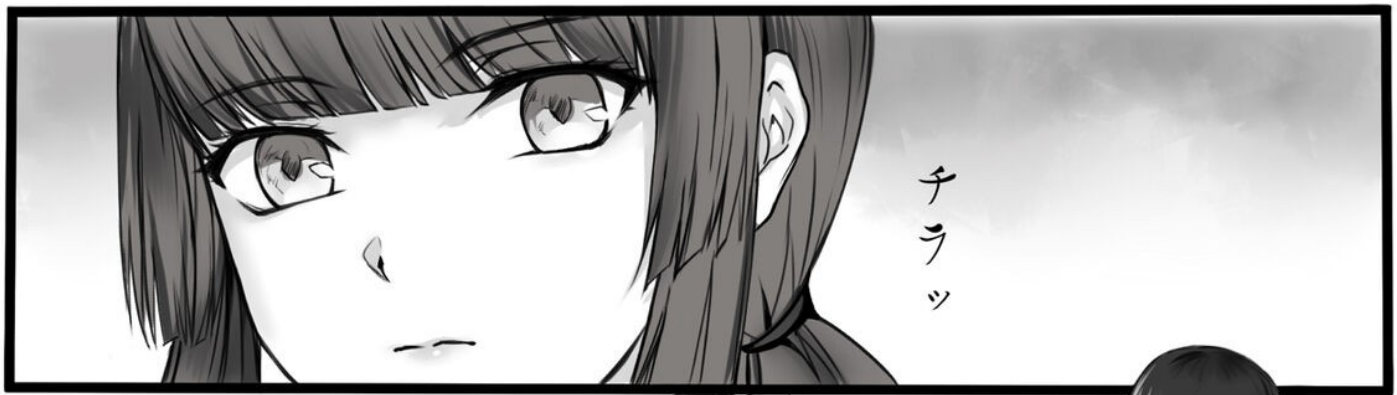
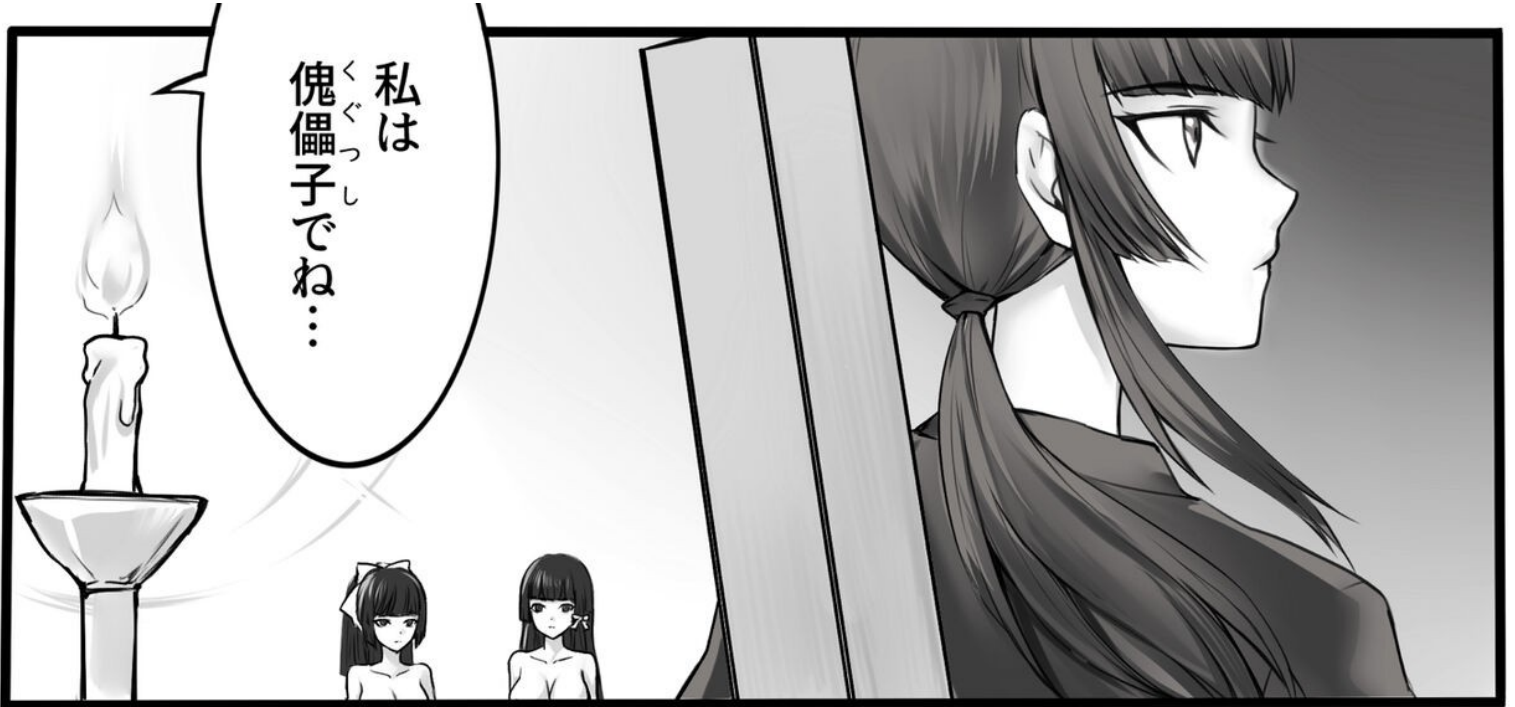
ふふっ
実は俺も
旅のお方って
やつだね

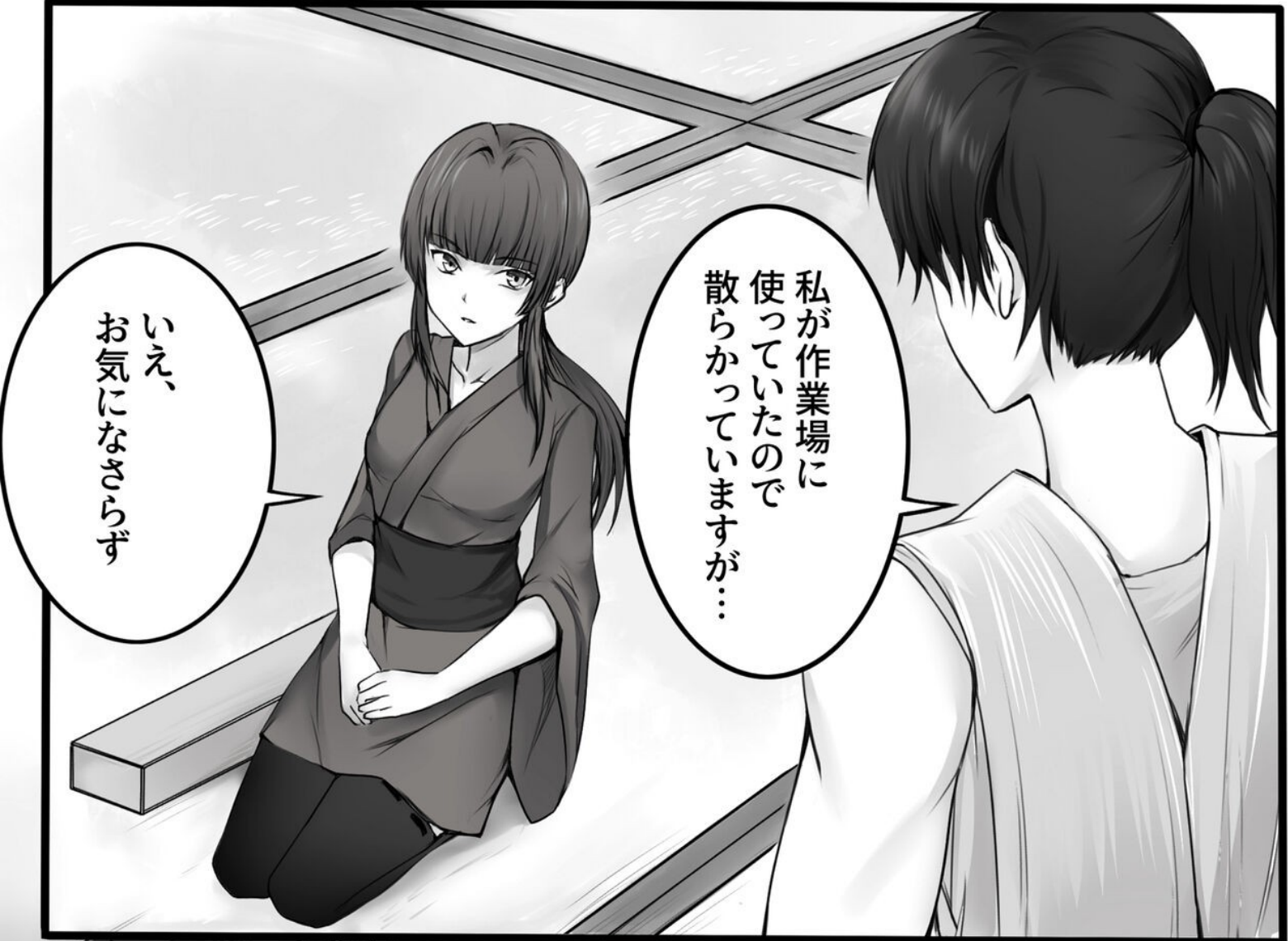
各地を旅しながら
こうした古寺を
寝床に
しているんですよ。

鏡は
反応しない…

秘具の鏡
妖怪討伐士の家系で
代々受け継がれてきた手鏡。
近くに妖怪がいると光る。

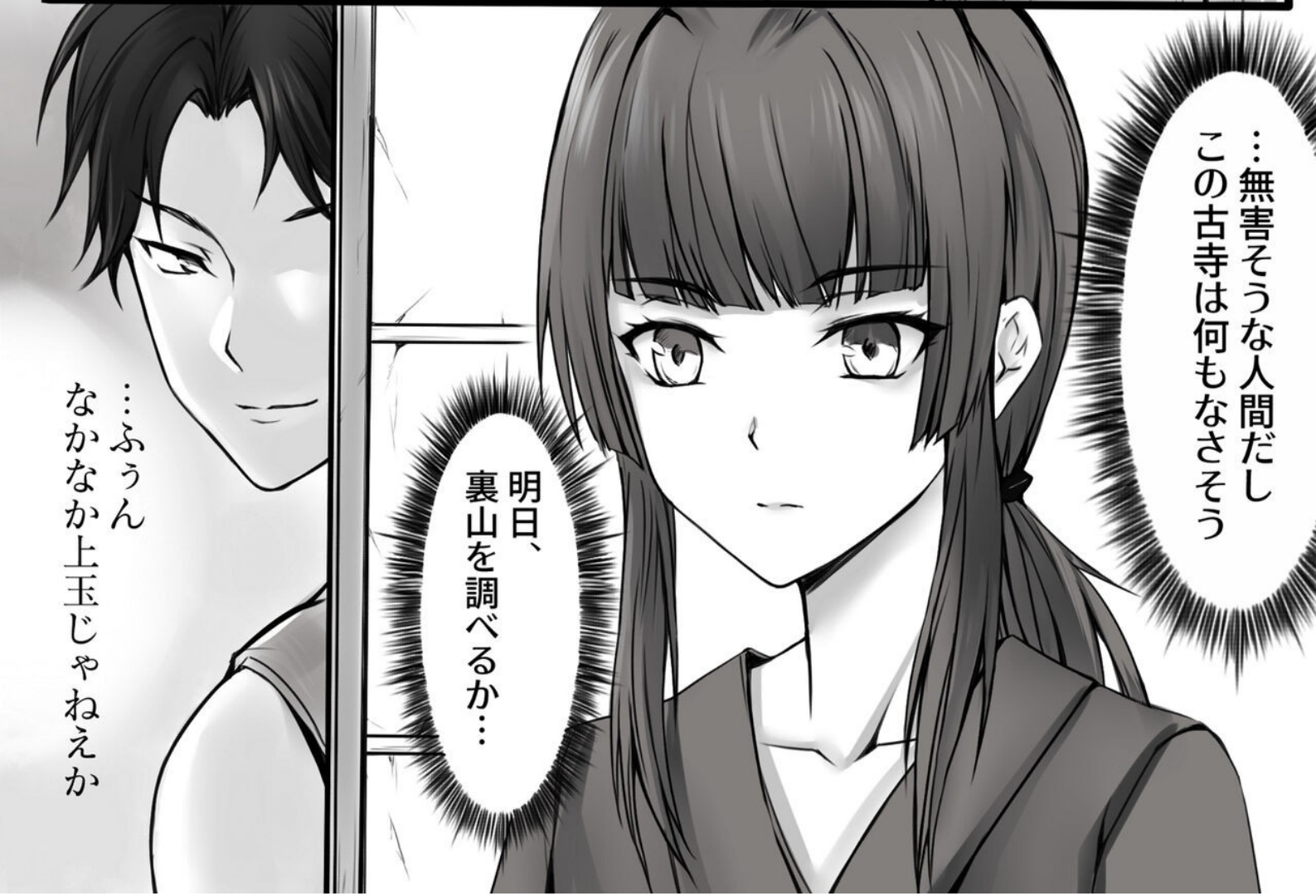
彼は人間か…
当てが外れたか





私が作業場に
使っていたので
散らかっていますが…

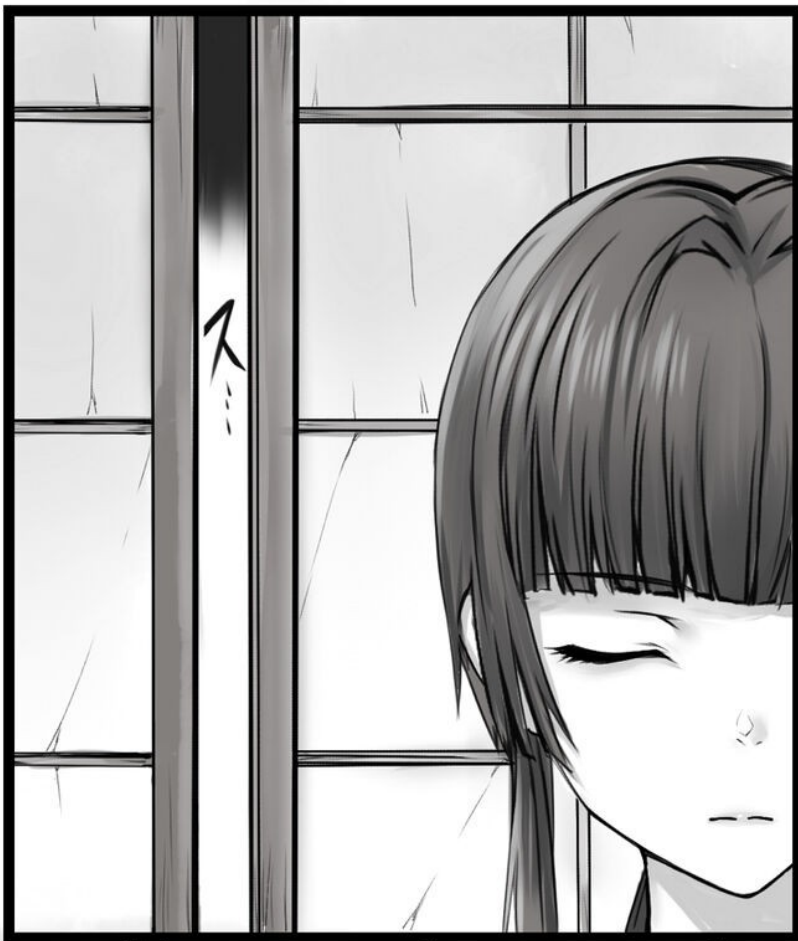
いえ、
お気になさらず

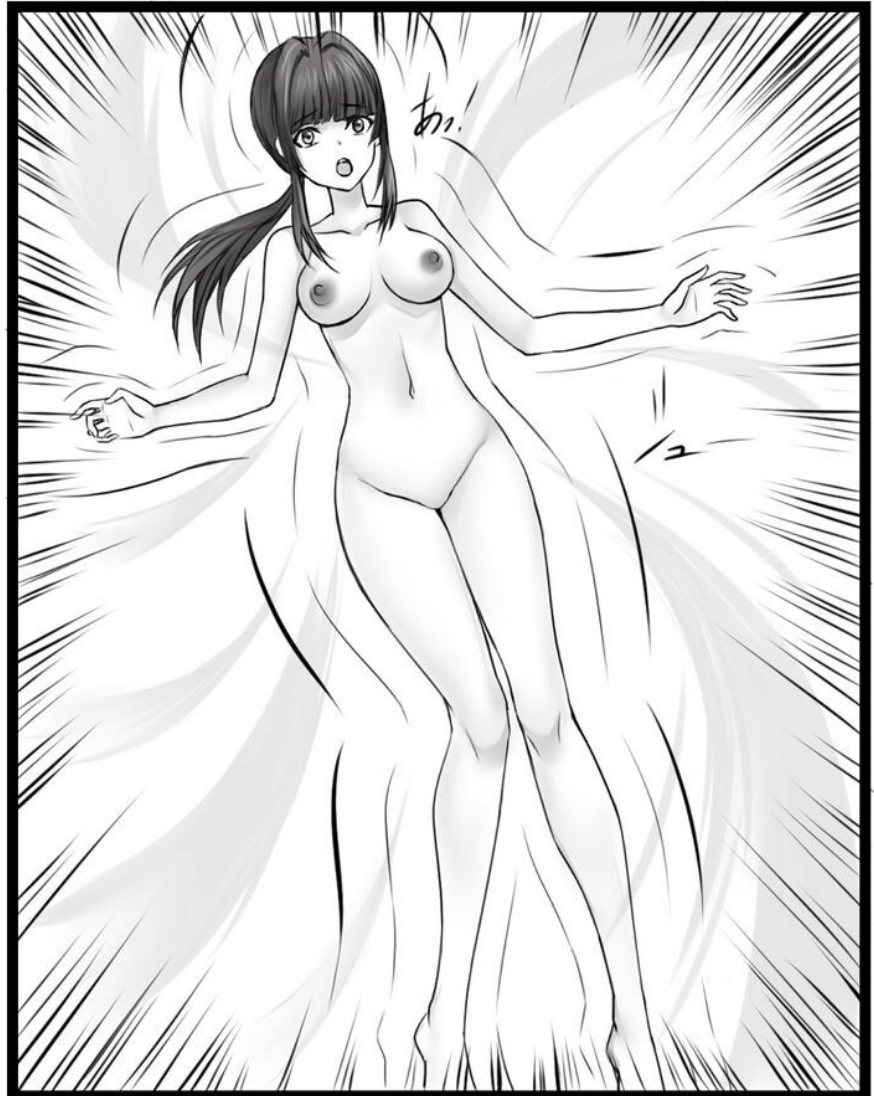
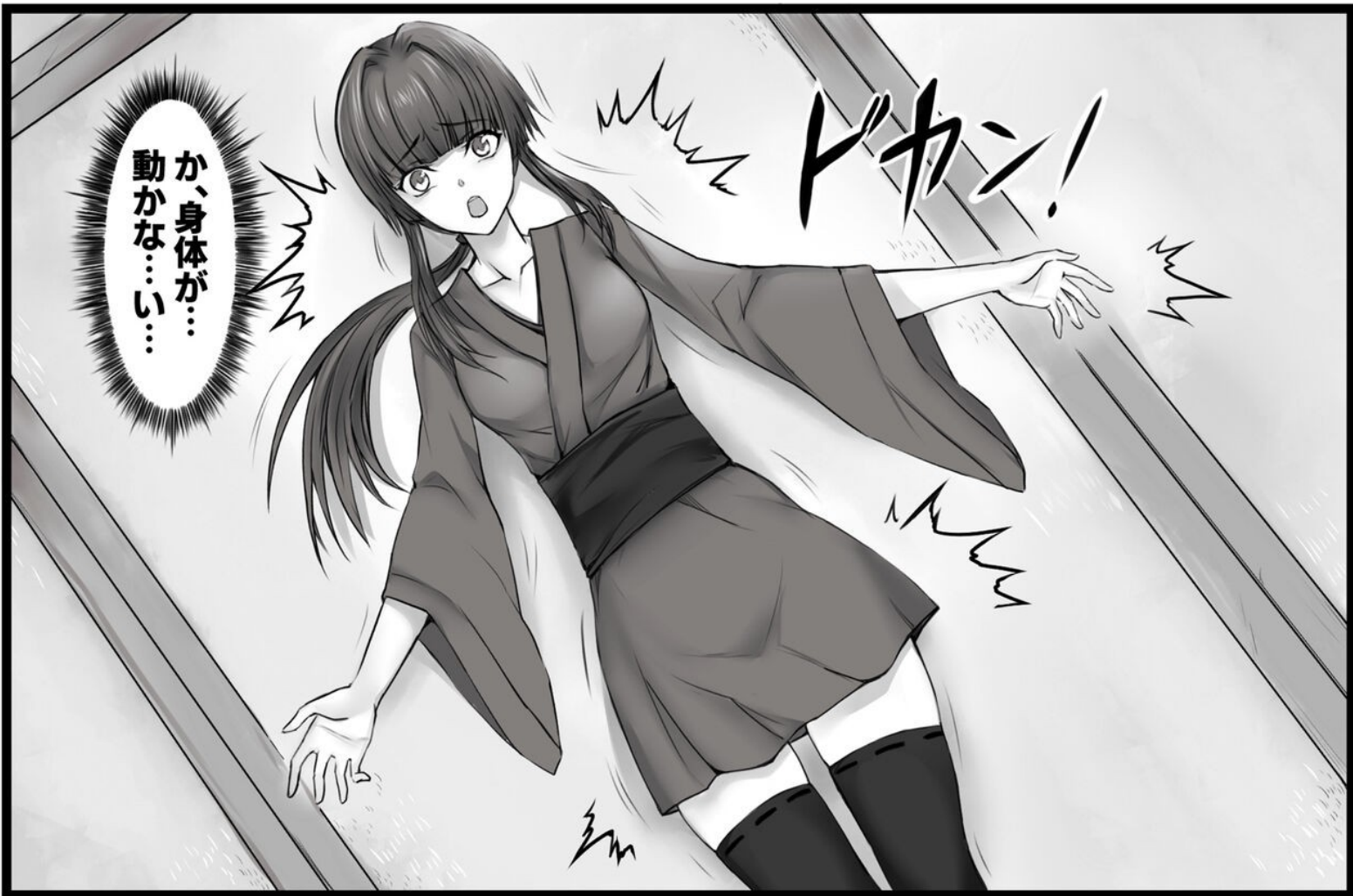


…無害そうな人間だし
この古寺は何もなさそう

明日、
裏山を調べるか…

…ふうん
なかなか上玉じゃねえか





男はただの人間だが、

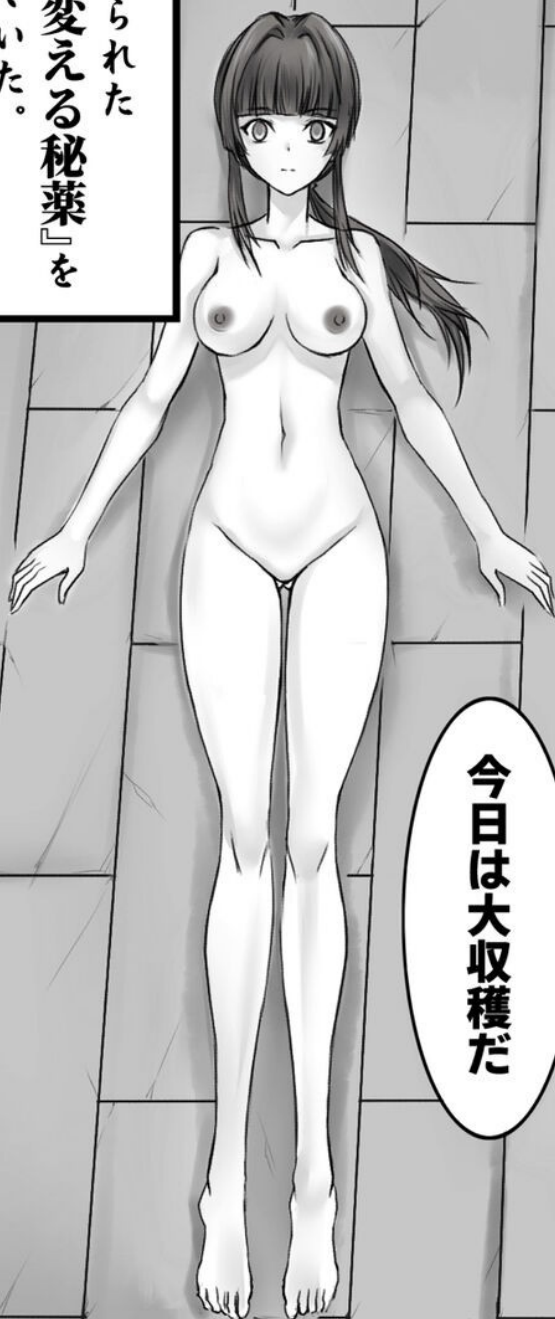
ガッ

…驚いた
木箱の中身が
刀だったとは!!

妖術によって作られた
『人間を人形に変える秘薬』を
偶然、手に入れていた。

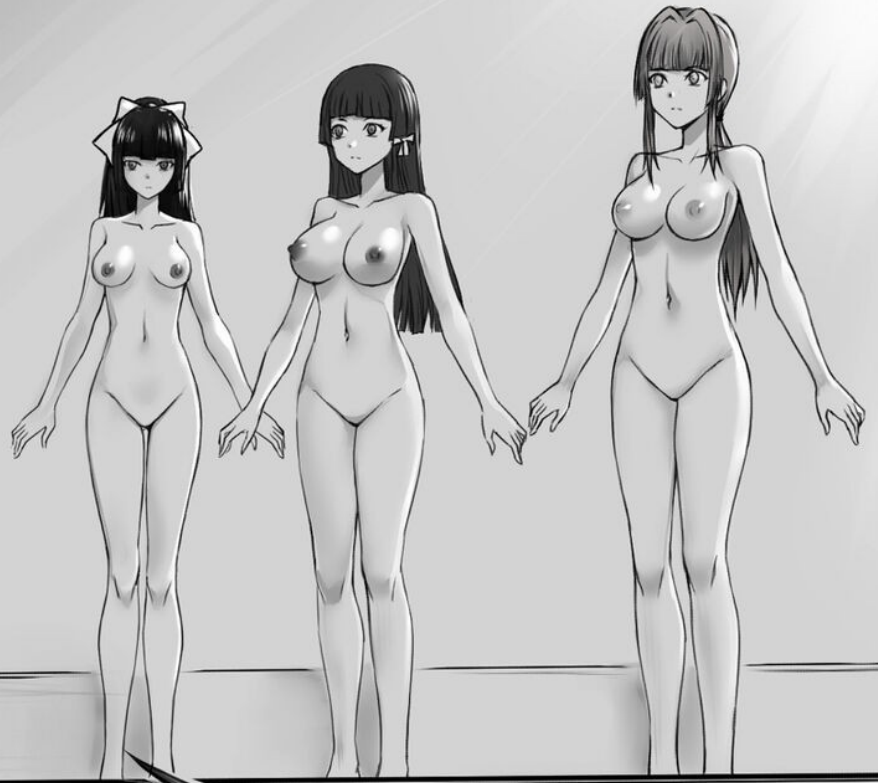
この変な鏡も
高く売れそうだし…

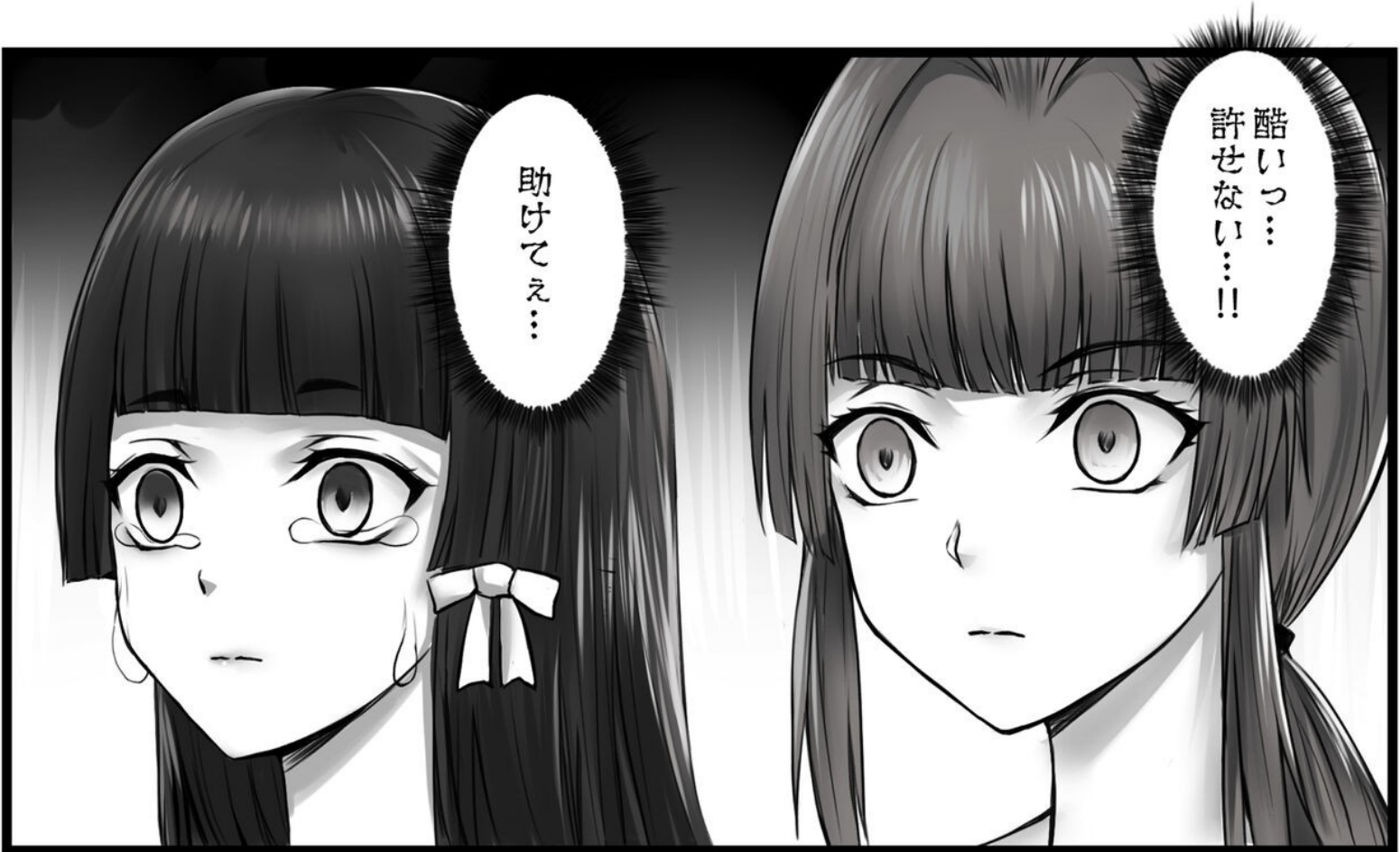
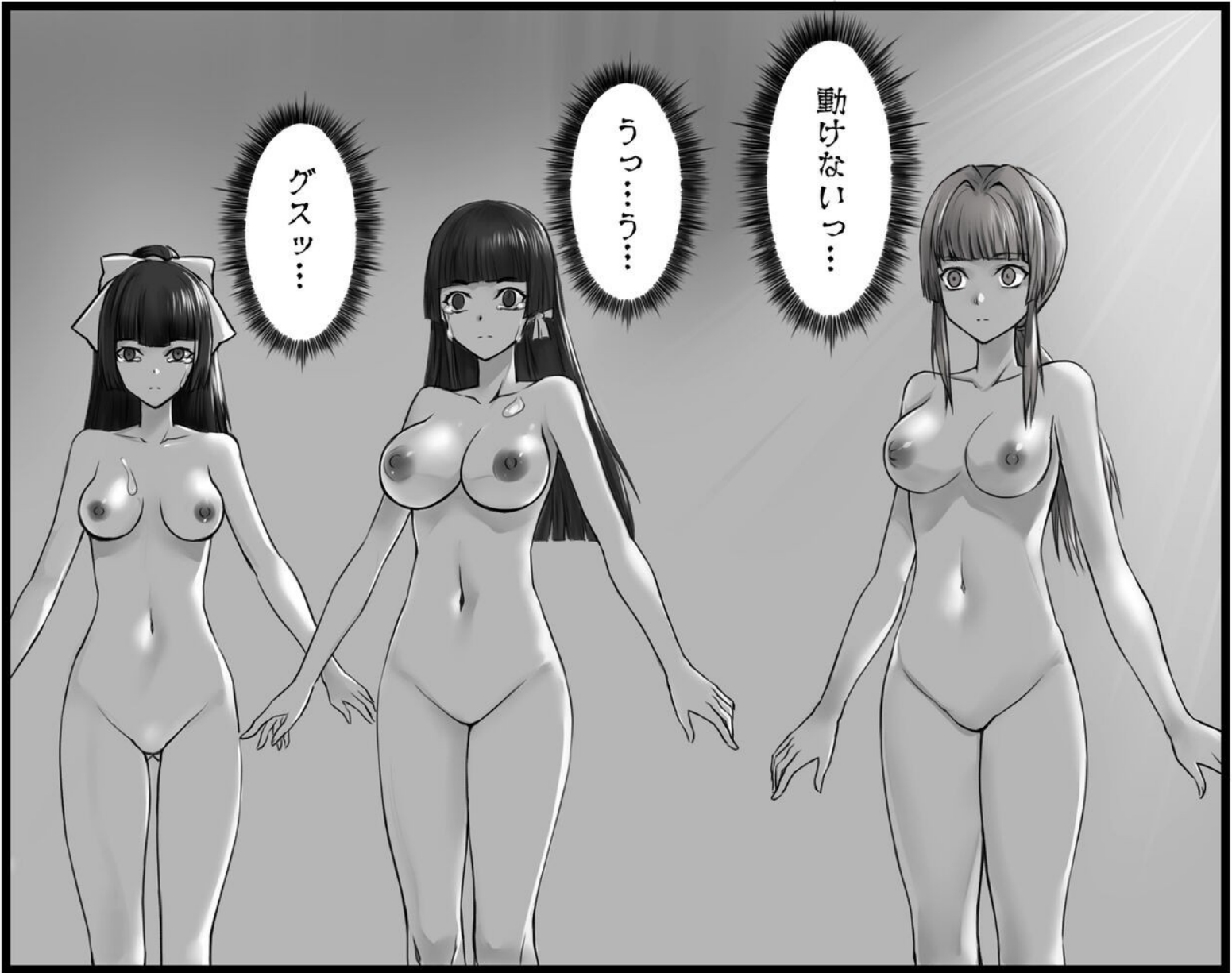
今日は大収穫だ



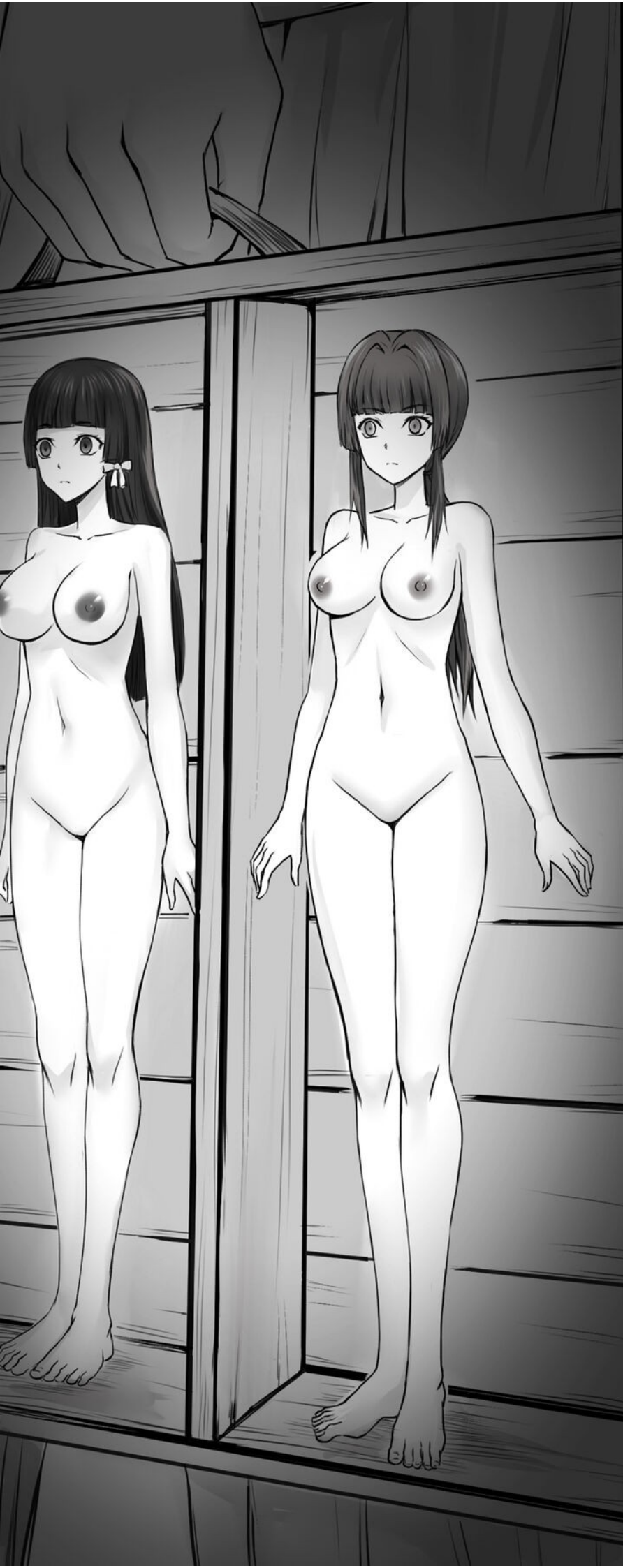
君も
私の作品になれて
嬉しいだろう？

さて、
朝になったら
出発だ





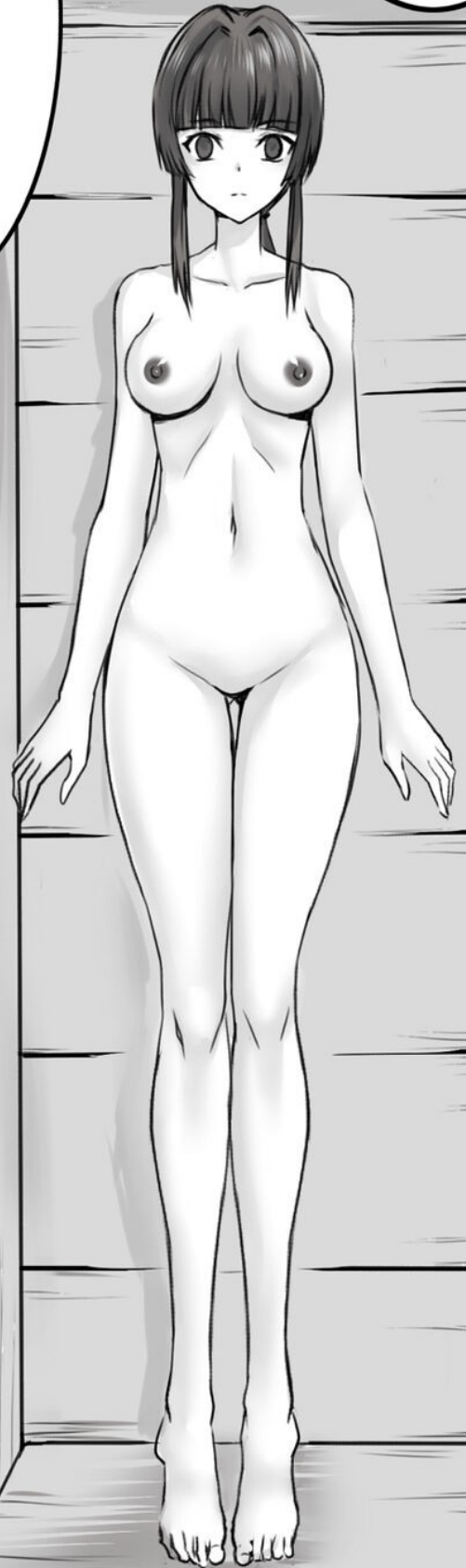
次の日…
男は、
古寺を出て旅を再開した





この鏡と刀です

買い取って
もらいたい品が
あるんですが…



ほおう
そんな高値がつくんですか
有難い有難い…





この
愁いを帯びた瞳…



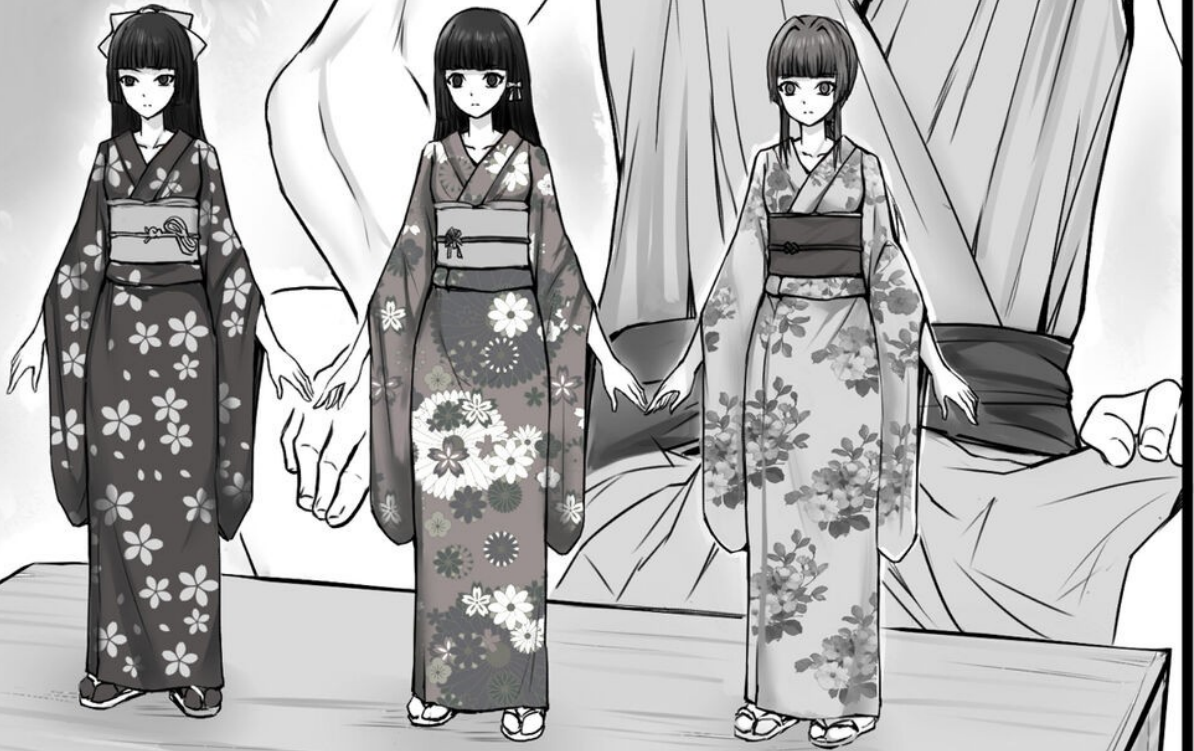
うん、よく似合っている。
我ながら
良い人形を作った…

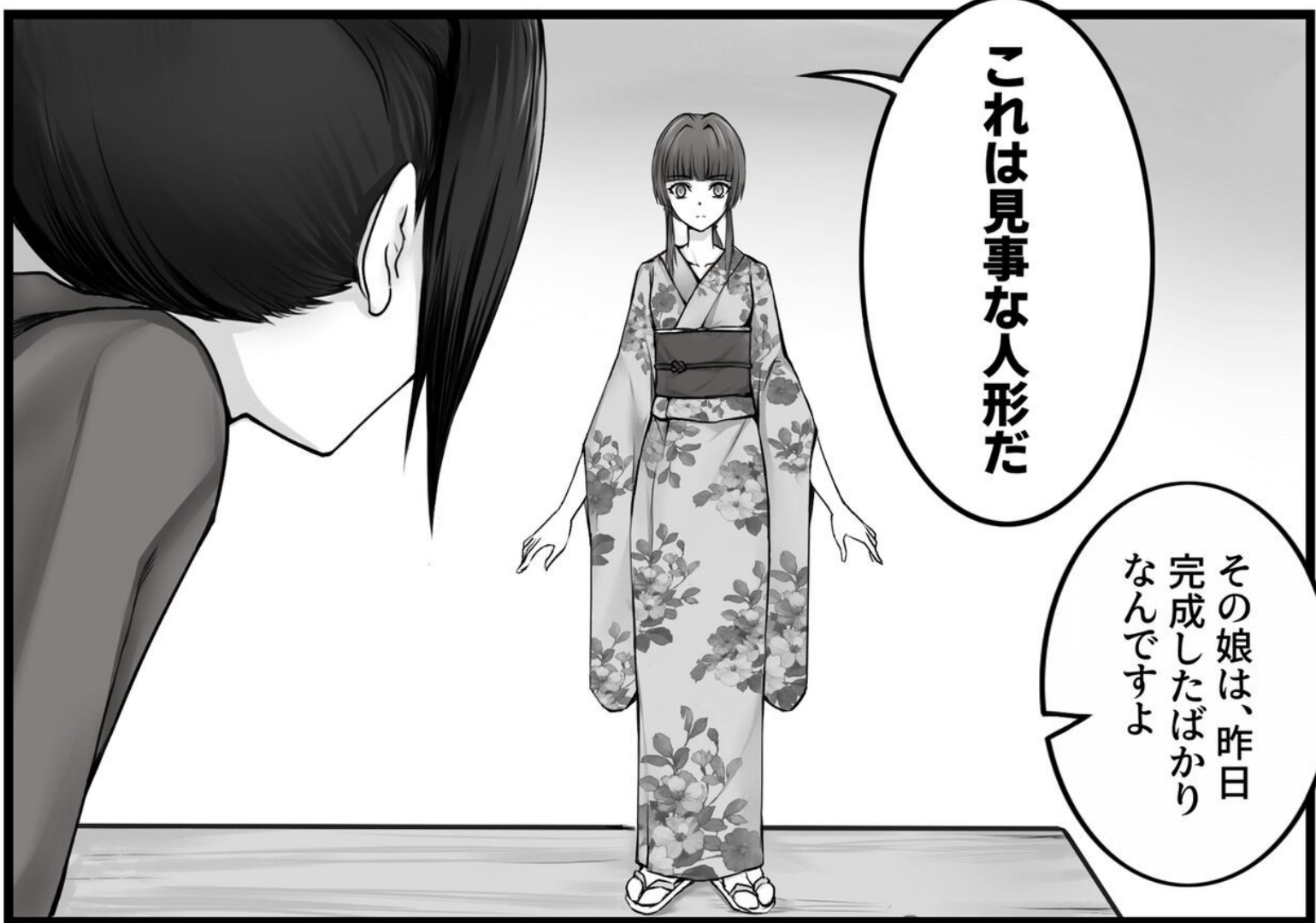


売ってしまうのが
惜しいくらいだよ

さーあ
寄ってらっしゃい
見てらっしゃい!

私の作った
娘人形をご覧あれ!!





これは見事な人形だ

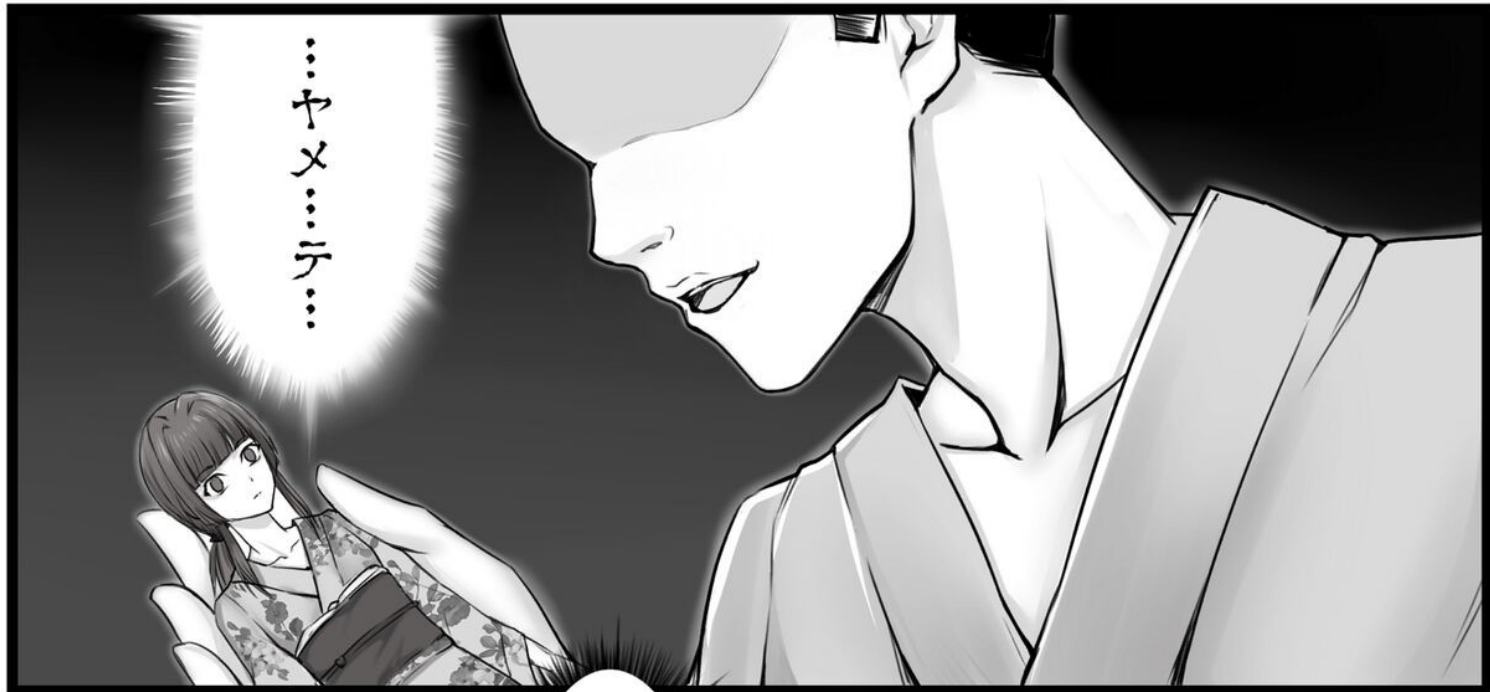
その娘は、昨日
完成したばかり
なんですよ



細部まで丁寧に
作られている...

思い切って
買ってしまおうか...?

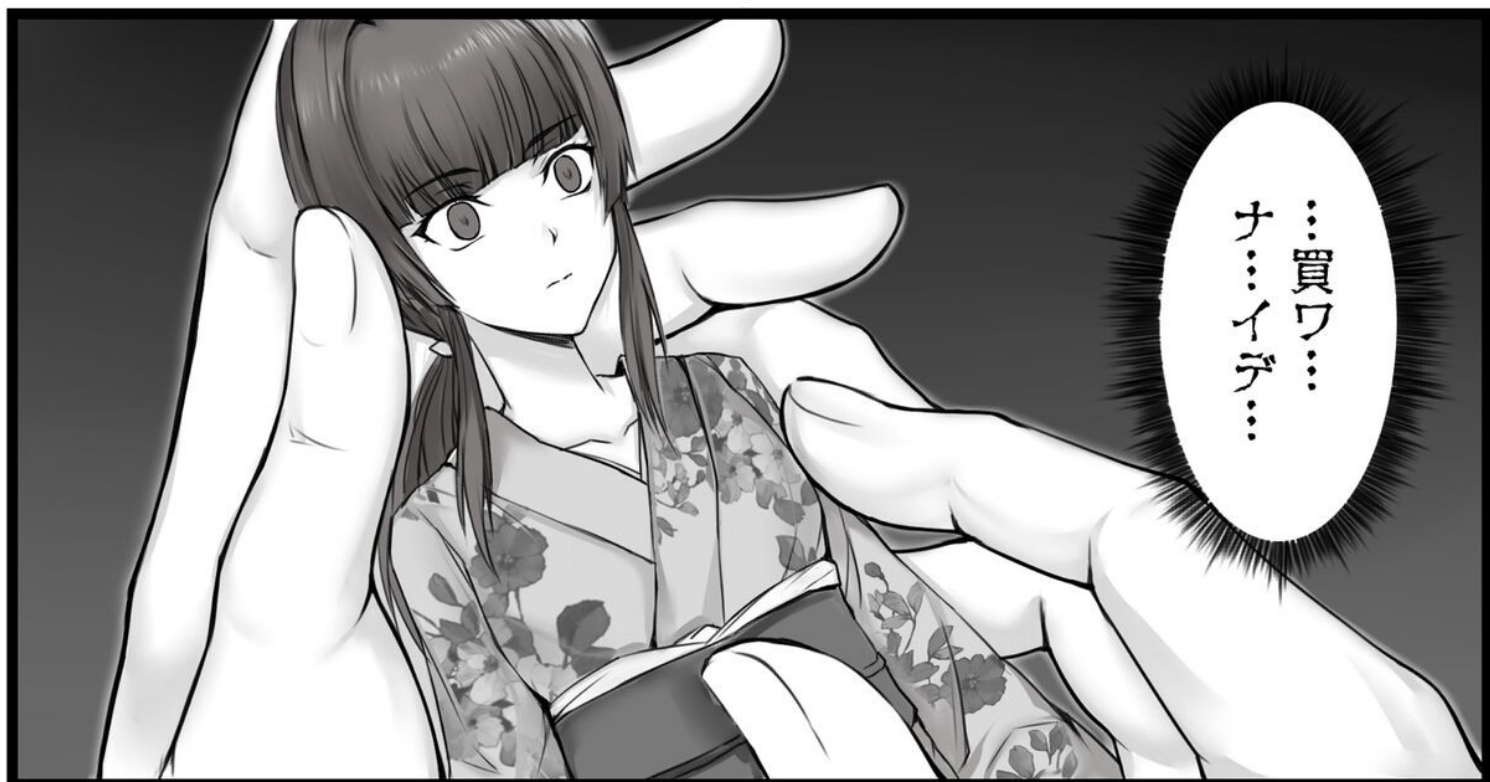




…やメ…テ…



…オ…ネガ…イ



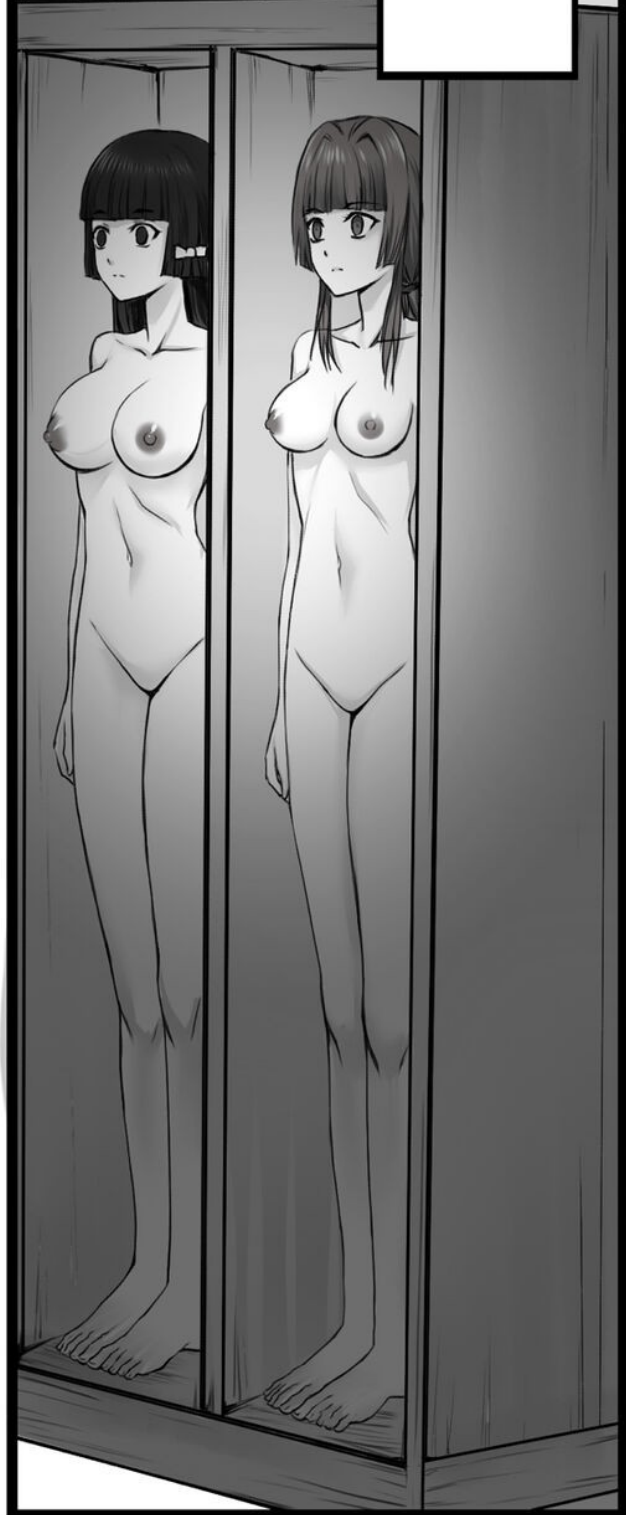
…買ワ…
ナ…イデ…



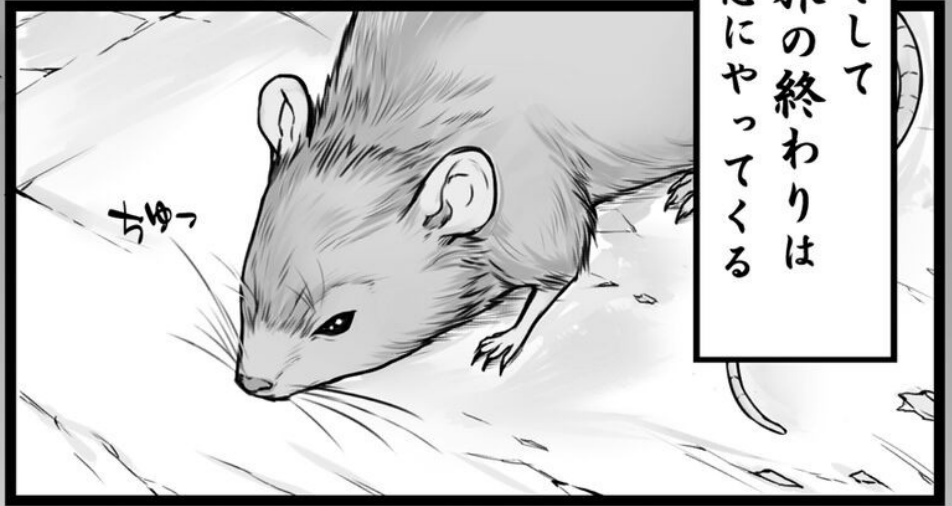
男と人形たちと旅は
しばらく続いた……



幸い、どの人形も
売られることはなかった

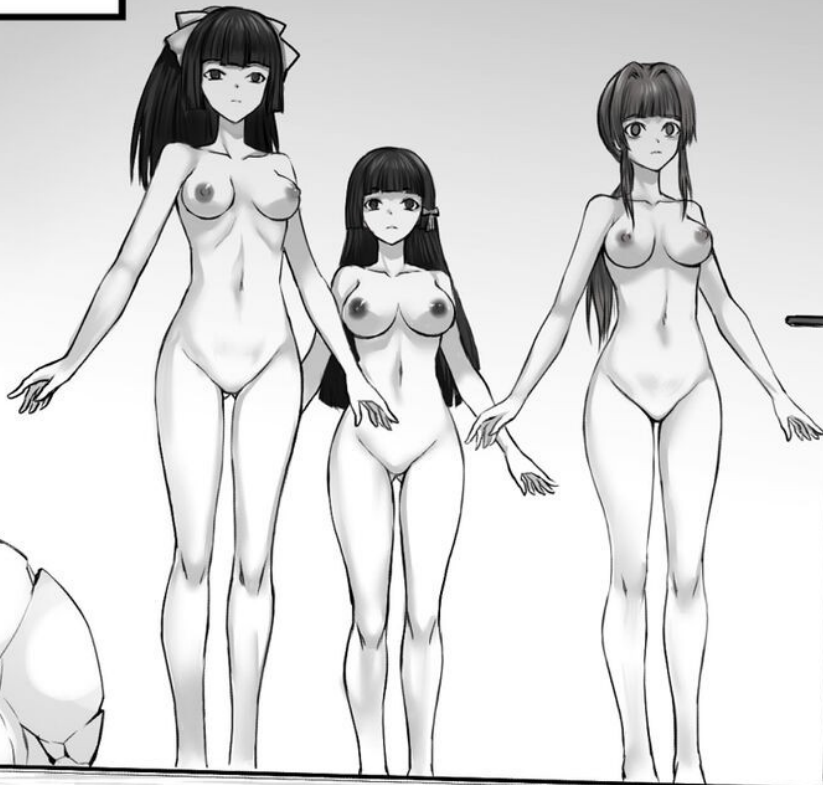


そして
旅の終わりは
急にやってくる



ちゅっ

男が死んだのだ
病気だった



男が最後に寢床にした
古寺には、持ち主を失った
人形だけが残された

